

## 会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第2回）
開催日時	平成28年1月25日（月）午前10時30分から午後1時47分
開催場所	本町小学校、保谷中学校
出席者	（委員）有澤会長・中村副会長・松村委員・佐藤委員・横張委員・中林委員・金木委員・後藤委員・小島委員・川添委員・石川委員 （欠席）小林委員・田中委員・山崎委員・横田委員・新出委員 （事務局）等々力課長・近藤・石部
議題	1 中学校給食調理及び配送の見学(本町小) 2 中学校給食の試食及び見学(保谷中学校) (1) 献立についての説明 (2) 給食ができるまでのVTR(本町小制作) (3) 給食試食 (4) 生徒の喫食状況見学 (5) まとめ
会議資料の名称	1 本町小学校給食だより(1月) 2 保谷中学校給食だより(1月)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>出席委員11名、委員数16名で過半数に達しているため、本審議会の成立を確認</p> <p>議題1 中学校給食調理及び配送の見学(本町小) 10:30～10:50</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理の状況を室外から見学</li> <li>・保谷中に配送するトラックへの荷出し、積込み状況の見学</li> <li>・配送トラックの見送り後に保谷中に移動</li> </ul> <p>議題2 中学校給食の試食及び見学(保谷中学校) 11:00～13:47</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・到着した配送トラックの荷下ろし、各クラスへのコンテナによる移送の見学</li> <li>・1-D教室に移動(スキー教室のため生徒は不在)</li> </ul> <p>(1) 献立についての説明 本町小学校栄養士・中野、保谷中学校栄養嘱託員・角より、本日の献立に関して説明</p> <p>(2) 給食ができるまでのVTR(本町小制作) VTRの視聴及び本町小学校栄養士の説明により、衛生管理やアレルギー対応についての説明</p> <p>(3) 給食試食 配送を受けた中学校用の給食を委員自らで配膳等を行い、試食</p> <p>(4) 生徒の喫食状況見学 委員が校内に分散し、生徒の給食の配膳・喫食・片付け等の状況を見学</p> <p>(5) まとめ 1-Dに戻り、見学全般・試食を経ての感想等で総括</p>	

(主な意見等)

○保護者委員からの意見

- ・初めて運搬の状況を確認し、中学校給食の全体が良く理解できた。改めて、子ども達の成長にとって給食が大切であることが理解できた。給食が、教育の一環であることも、栄養士からの給食週間の話などから理解ができた。
- ・VTRの視聴で、アレルギー対応や衛生管理についても目の当たりにできた。
- ・日々の調理業務に感謝したい。小学校のための給食室から2校分の昼食を用意するという過酷な労働環境と、重い責任を背負っていることも理解できた。
- ・小から中に運ぶ関係で保温性の高い食缶を使っている。給食は時間を守ることが大切で、西東京市においても最大限の努力を行っていると感じた。保護者の要望は高まる一方であると思うが、アレルギー対応も抱える中で、ここまで対応ができていくことへの理解を促すことも大切であろう。
- ・試食してみて感謝の念が募った。おいしい給食を毎日食べていることをうれしく思う一方で、牛乳とご飯はミスマッチと感じた。正直、箸が進まなくなった。
- ・あるクラスでは、準備中に量を間違えてしまい、配り直していた。全員が協力すれば早く終わるのに、給食当番だけが全員の席に回って配り直していたので時間を浪費していた。しかし、これも勉強だと感じた。食べる姿はおいしそうにしていた。
- ・実際に食べてみて、子ども達の美味しくないという反応が信じられない。
- ・VTRは、子ども達にも見せてほしい。調理員の顔や作業の大変さが見えることで、もっと美味しく食べられると思う。
- ・湯通しした野菜サラダが、急速冷却機を介して歯ごたえが良くなることを知った。
- ・中学になると給食がおいしくなくなるということを子どもが言っているが、もっと作る苦勞を伝えることも必要かと思う。子どもたちから、批判的な意見ばかり聞いていると親は不安になってくるのだと思う。
- ・4時間目が体育のクラスでは、教員も配膳を手助けしながら時間内で食べる工夫をしていたが、これらを含めて食育であると感じた。

○学校側委員の意見

- ・予算の拘束はあるが、食缶を改善すればより保温性は高まるが、学校は思いのほか寒いので、配膳の時間中に冷めてしまうことも計算して温かいものを提供している。
- ・いつも提供する側からの視点になるが、今日は食べる側の視点で見学することで興味深く参加できた。今日とほぼ同じメニューの日もあるが、常に手を抜かずを作るよう心がけている。
- ・給食とは「同じ釜の飯」を毎日一緒に食べる体験である。
- ・親子給食校は、調理業務が民間委託のため自分たちからのアピールは少なくなる。小学校では、栄養士や調理員が教室を回って話をする機会があるが、もっと学校側が調理の様子などを伝えることが必要と思う。
- ・限られた給食費の中からたんぱく質を効果的に補おうとすると牛乳は必要となることは否めない。
- ・配膳の様子を見学し、食育担当の教員が良く生徒たちと協力している姿が目についた。卒業生が頑張る姿が頼もしかった。
- ・給食は、出汁を取るところからスタートするが、その大変さを理解できるかどうかは、家庭での手伝い具合によって異なる面もあると思う。

○会長 見学・試食と併せて行い、大変良い機会になったと思う。

会議の席では喫食時間が短いのではないかという意見が必ず出るが、実際に見学すると10分間の配膳予定時間を10分以内に終わらせているクラスもあり、その日の当番次第のところもあるようだ。また、4時間目の教科によっては、配膳がスタートでき

る時間にも変化があることがわかった。私は、保護者が心配をするほどの状況にはないという印象であった。

学校給食では、O157による食中毒渦以来、生野菜は出せなくなり、茹でた野菜を冷やして食べているため、家庭での生野菜サラダとは異なるものになることは理解してほしい。

中学生になり、自由に外食ができるようになってくると、薄味で素材の味を大切に作る給食はもの足りなく感じるが増えるのではないか。外食は、塩分と油分を増やすことで味を調べており、子どもの成長のための美味しさとは逆行する部分もあり、味に対する不満の声になってくるのだと思う。

今日のような優れたVTRは、ぜひ中学生の目にも触れるようにしてほしい。百聞は一見に如かず、調理の様子はいくら口で説明しても伝わらない部分だと思うので、活用を考えてほしい。学校によっては、調理員を喫食時に招いて感謝の気持ちを伝えることを行っているが、家庭でも折に触れて話をしてほしい。

委員各位は、本日の見学・体験の様子を正確に他の保護者や市民に伝えてほしい。

本日の会議は、散会とする。